

【環境活動レポート】

2014年度（2014年1月～2014年12月）

2015年6月29日作成

1. 環境方針
2. 組織の概要
3. 実施体制
4. 環境目標とその実績
5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価
6. 今後3年間の目標及び次年度の取組内容
7. 代表者による評価と見直し
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1.環境方針

〈基本理念〉

当社は印刷事業を通じ、企画から顧客の手元に渡るまでのあらゆる段階において、環境に与える負荷の軽減に努めます。地球環境の保全のために、以下の方針を定め、環境を重視した企業活動を行います。

〈行動指針〉

- 1.エコアクション 21 に基づく環境マネジメントシステムを構築運用し、積極的に環境への負荷の軽減を目指します。
- 2.環境に関わる法令、条例、規制、協定を遵守し、顧客の要求事項を明確にし、環境保全活動の継続的な向上をはかります。
- 3.環境方針に基づいた環境マネジメントシステムを確立し、環境目標、行動計画を設定し、必要に応じて見直しを行います。
- 4.環境負荷を軽減するために次の活動を積極的に進めます。
 - ①二酸化炭素総排出量の削減に努めます
 - ②廃棄物の分別によるリサイクル化の推進及び廃棄物の削減を図ります
 - ③水資源の節約に努めます
 - ④化学物質使用量の削減に努めます
 - ⑤グリーン購入の推進に努めます
 - ⑥環境に配慮した自社製品の生産・提案
- 5.この環境方針は全ての役員従業員に周知徹底し、社員教育を実施すると共に啓蒙活動を推進して、環境保全型企業を目指します。

作成日 2009年 3月 2日

改訂日 2012年 2月 8日

株式会社 三進社

代表取締役 高倉三夫

2.組織の概要（取り組みの対象範囲）

事業所名

株式会社 三進社
代表取締役 高倉三夫

所在地

本社 東京都品川区西五反田4丁目28番13号
営業本部 東京都江東区木場5丁目11番13号 木場公園ビル6F
木場工場 東京都江東区木場6丁目6番3号
尾久工場 東京都荒川区西尾久8丁目32番4号
業平工場 東京都墨田区業平1丁目1番9号
川崎営業所 神奈川県川崎市中原区宮内1丁目2番20号

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 青木秀樹
連絡先 電話 03-5621-3848 FAX 03-5621-3849
環境事務局 渡辺武雄 富樫裕子

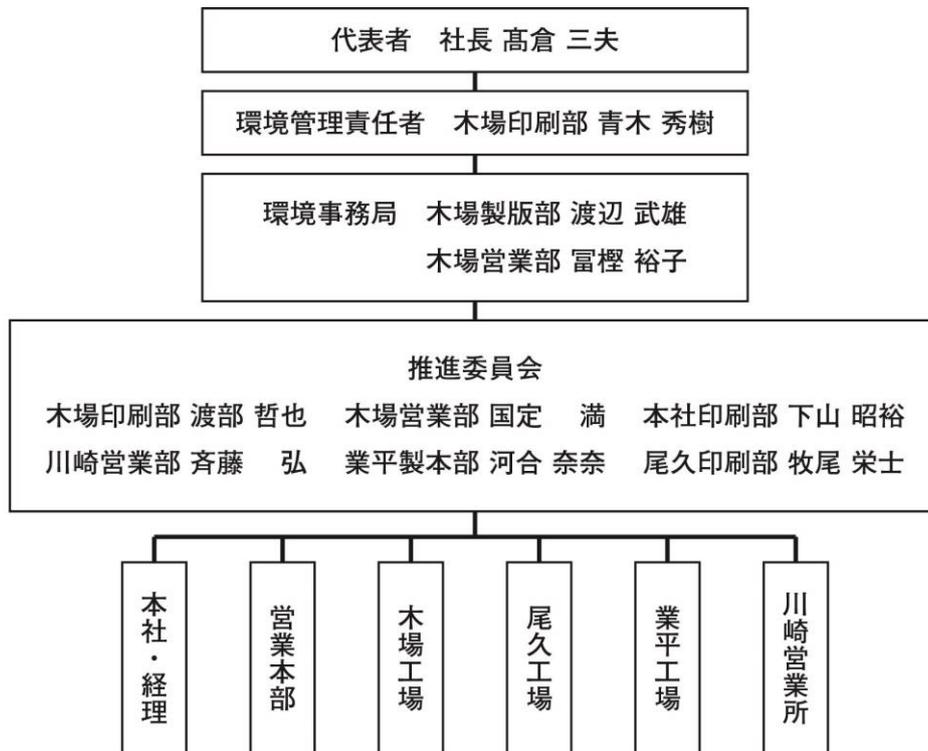
事業内容

総合印刷

事業規模（2014年度）

年間売上高 1,652百万円
従業員数 95人
床面積 2,661.6㎡

3.実施体制（環境システム組織図）



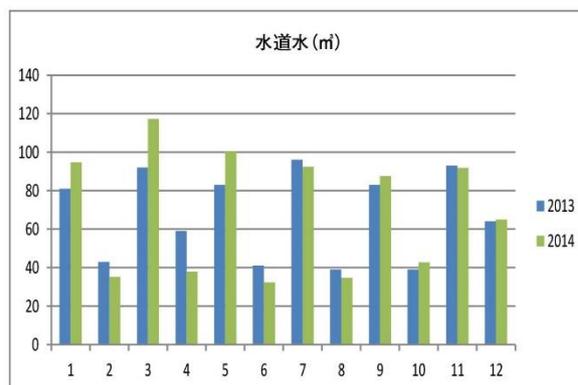
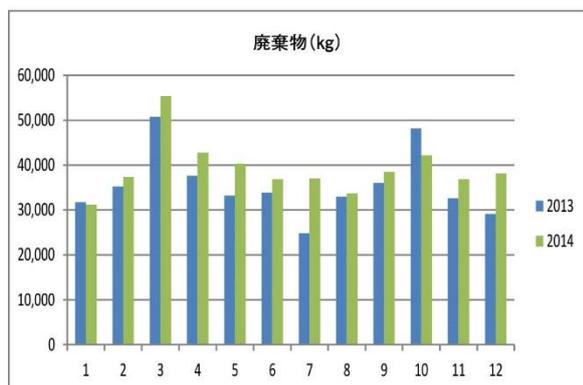
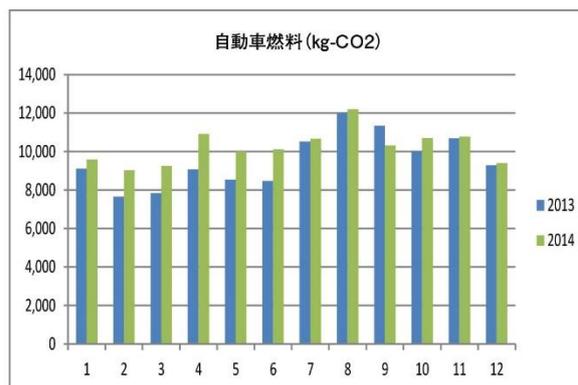
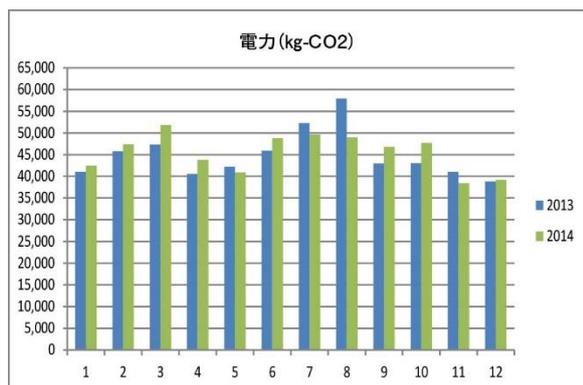
代表者（社長）	<p>環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を留意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認</p>
環境管理責任者	<p>環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認</p>
環境事務局	<p>環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</p>
推進委員会	<p>各事業所における環境経営システムの実施 各事業所における環境方針の周知 各事業所の従業員に対する教育訓練の実施 各事業所に関連する環境活動計画の見直し及び達成状況の報告 各事業所の特定された項目の手順書作成及び運用管理 各事業所の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 各事業所の問題点の発見、是正、予防処置</p>
全従業員	<p>環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</p>

4.環境目標とその実績（2014年度）

	基準年度 (2010年度)	2013年度 実績	2014年度 目標	2014年度 実績	目標に対しての 達成状況
電力の削減 (kg-CO2) *	409,686	538,998	397,517	545,923	137.33%
自動車燃料の削減 (kg-CO2)	125,613	114,591	121,882	122,985	100.90%
廃棄物の削減 (kg)	312,612	426,031	303,327	470,107	154.98%
水道水の削減 (m ³)	906	812	879	832	94.65%
二酸化炭素総排出量 (kg-CO2)	553,299	661,514	536,865	676,355	125.98%
有機溶剤の使用量 (kg)		4,987		21	**
グリーン購入 (件)		178		194	前年比 108.98%
FSC登録商標使用 (件)		40		45	前年比 112.50%

* CO2 出力係数 : 0.530(2013年度 : 0.525)

**集計方法変更のため比較なし



5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価

【主要な環境活動計画の内容】

【電力】 に関して

不要照明の消灯、ステッカーの掲示

【自動車燃料】 に関して

アイドリングストップ、急加速・急発進の防止

【廃棄物】 に関して

分別による古紙のリサイクル化、マイカップ運動の推進、モノクロ及び両面コピー・プリントの推進

【水道水】 に関して

節水の呼び掛け、ステッカーの掲示

【有機溶剤】 に関して

使用量の把握と取り扱いの注意（含有量のみの計測を開始）、MSDSの管理
（目標数値は設置せず、数量の報告とする）

【グリーン購入】 に関して

文房具等の購入の際は、グリーン購入の物を選択する
（目標数値は設置せず、数量の報告とする）

【FSC 案件】 に関して

製品・サービスにおける環境項目としてアピールし、顧客の信頼を得る
（目標案件数は設置せず、量の報告とする）

【取組結果の評価】

【電力】 に関して

年間を通して前年度並みだが繁忙期の使用量の増加が目立つ。

【自動車燃料】 に関して

ほぼ前年度と変わりはない

効率のよいルートを考えながら営業活動をしている努力が見られる

【廃棄物】 に関して

年間を通して増加しているがやはり繁忙期の増加が目立つ

【水道水】 に関して

目標に対しては達成できているが、前年に比べると増加している

水道水は主に生活用水であり仕事量の増加 → 残業時間の増加による

【有機溶剤】 に関して

前年までは購入量をそのまま集計していたが、2014年度より全ての溶剤の該当物質の含有量のみを集計する取り組みを開始した

より明確な数量を把握できるようになった

【グリーン購入】 に関して

主に文房具によるものが多い

発注に関しても部門長の承認を得るように社内ルールを変更

【FSC 案件】 に関して

顧客の要望による項目であるが結果的に前年に対し増加した

6.今後3年間の目標及び次年度の取組内容

今後3年間の目標

	基準年度 (2010年度)	2014年度 実績	2015年度 目標	2016年度 目標	2017年度 目標
電力の削減 (kg-CO2) *	409,686	545,923	540,463	535,059	529,708
自動車燃料の削減 (kg-CO2)	125,613	122,985	121,755	120,537	119,332
廃棄物の削減 (kg)	312,612	470,107	465,405	460,751	456,144
水道水の削減 (m ³)	906	832	823	815	807
二酸化炭素総排出量 (kg-CO2)	553,299	676,355	669,591	662,895	656,266
有機溶剤の使用量 (kg)		21	実績値報告	実績値報告	実績値報告
グリーン購入 (件)		194	実績値報告	実績値報告	実績値報告
FSC登録商標使用 (件)		45	実績値報告	実績値報告	実績値報告

※ 2010年度を基準年度とし、2012年度以降は前年度実績値-1%を目標とする

次年度の取組内容

【電力】 に関して

不要照明、退社前の空調及びエアコンの消灯、ステッカーの掲示

【自動車燃料】 に関して

アイドリングストップ、急加速・急発進の防止、低燃費車への変更

【廃棄物】 に関して

分別による古紙のリサイクル化、マイカップ運動の推進、モノクロ及び両面コピー・プリントの推進

【水道水】 に関して

節水の呼び掛け、ステッカーの掲示

【有機溶剤】 に関して

使用量の把握と取り扱いの注意、MSDSの管理

(※第一種指定化学物質の使用量の把握)

【グリーン購入】 に関して

文房具等の購入の際は、グリーン購入の物を選択する

7.代表者による全体の評価と見直しの記録

実施日：2015年6月10日

実施者：代表取締役 高倉 三夫

報告者：管理責任者 青木 秀樹

【取組状況の評価】

仕事量に波があり時間の意識をさせた

その結果、効率がアップし経費面での節約に成功した

【見直し及び総括】

紙を使用しないのが一番のエコであり印刷業は逆行している

無駄を出さない事を意識して欲しい

不良を出さない事が結果的に環境のためになることを意識して品質の向上を

継続して維持したい

事業所内の整理整頓を徹底し、作業環境・作業効率を上げて時間短縮を目指したい

【事務局より】

仕事量による各項目の増減が著しく基準年度に定めた2010年度の実績値が参考にならなくなっている状況である

目標のたてかたを検討するためにも前年度実績値1%削減を目指す目標を仮に設定し、観察・様子を見ていくこととする

8.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法令等の遵守状況を環境関連法規一覧表に基づき確認しましたが、違反状況はありませんでした。また訴訟、苦情及び関係当局よりの違反の指摘は、過去3年間ありません。